



調布大塚小学校

心身の成長と学校行事

校長 吉野 明

一学期が始まりました。日焼けした子どもたちが元気に登校しました。四十二日間の長い夏休みでしたが、大きなけがや病気もなく過ごせたことが何よりです。夏休み中には、夏季水泳指導はもちろんのこと、お楽しみ教室や補習教室、盆踊り大会など学校や地域の多彩な行事が行われました。子どもたちもたくさん参加していました。特に盆踊り大会には、保護者、地域の皆様、同窓生など本校を支えていただいている多くの方々で賑わいました。

盆踊り大会は、本校の開校六十周年を記念して始まったのですが、これほどの人数・規模の盆踊り大会は、この周辺ではほかにないと思います。年々盛んになるというこの盆踊り大会。学校と地域がまさに一体となった行事として、これからも益々盛んになることを期待しています。

一、体と心の成長を感じて

さて、いよいよ二学期。まず感じることは、体も心も大きく成長するということです。夏休みに境に、子どもが大きく変わることは、昔から言われました。しかし、最近の時代の急激な変化により、夏休みの四十二日間は大変な時間の経過であると言えます。テレビや雑誌などに触れる機会や時間も多くなり、そうしたことが体や心の成長を一層促しているとも言えるでしょう。思春期の高学年の子どもだけな

く、中学年の子どもたちも、大きく成長しています。夏休み明けで、時に、学級生活にうまく適応できないという事例も見受けられます。家庭での規則正しい生活を心がけるとともに、子どもの心を理解する態度が必要な時期でもあります。学校でも、九月当初は、子どもたちの様子を注意深く観察し、必要な場合は家庭へ連絡するように共通理解していますので、ご協力をよろしくお願いいたします。

二 学校行事で達成感と自己肯定感を

一学期は、「行事の二学期」と言われるほど、学校にとっては、教育活動の特色を打ち出し、集団意識を育てる上で意義ある期間です。伝統ある運動会、個性発揮の学芸会、体で学ぶ社会科見学や移動教室など、教室という場から少し踏みだし、子どもが自分の思いや考えを全身で発揮できる活動が中心になります。こうした活動のねらいは、教師の適切な指導のもとで、子どもたちが自分で企画や運営する能力、実践して検証する能力などです。また、能力の育成を図りながら、同時に、学級での仲間作りや帰属意識を目指すということも大切です。運動会や学芸会など昔から変わらないよい点を継承するとともに、時代が求める新しい視点なども考慮し、何よりも、子どもたちにとって「やった。」「できた。」という達成感を味わわせ、「自分でもこんなことができるんだ。」という自己肯定感にまで高められれば嬉しい限りです。

一学期は、本校の校内研究でも、授業研究会を三回ほど予定しています。九月に体育（中学年）、十月に生活科（低学年）、十一月に総合的な学習の時間（高学年）です。子どもにとって、「わかる・できる授業」「共に学び考える授業」とは何かを教師が検証しながら、心身ともにたくましい大塚の子ども

九月の行事予定

×：放課後遊びなし  
◎：校庭開放日

一日(木)	始業式・避難訓練	×
二日(金)	給食始	
五日(月)	交通安全教室(二年) 委員会活動	
七日(水)	自転車教室(三年) 英語活動	
八日(木)	安全指導	
九日(金)	プール納め・保護者会(三・四年)	
十一日(日)	防災訓練	
十二日(月)	クラブ活動(四・六年)	
	社会科見学(五年)	
	発育測定(二・三・四年)	
十三日(火)	社会科見学(四年) 発育測定(三年)	
	保護者会(二・二年)	
十四日(水)	発育測定(五・六年)	×
	午前授業・三年のみ五時間授業	
十五日(木)	漢字検定・保護者会(五・六年)	
十六日(金)	校庭整備	×
十九日(月)	敬老の日	
二十日(火)	運動会係打ち合わせ・教育実習始	
二十一日(水)	英語活動	
二十二日(木)	校庭整備	×
二十三日(金)	秋分の日	
二十六日(月)	運動会係打ち合わせ	
三十日(金)	運動会前日準備	

\* スクールカウンセラー  
相談日は毎週火曜日です。



お楽しみ教室  
ヨットスクール